

学びの 広場

地域で学び、活動する
皆さんを応援します
北秋田市教育委員会



- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ

谷京子さんのおはなしパルーン

～大阿仁公民館「図書ひろば」～

大阿仁公民館「図書ひろばの」リニューアル・オープンを記念した「谷京子さんのおはなしパルーン」が6月20日、大阿仁公民館集会所で開かれ、園児や小学生、地域の住民ら約90人がおはなしの世界を楽しみました。

谷さん(秋田市)は、秋田市を中心に県内外で広く読み聞かせ活動を続けています。たくさんの風船がステージを彩るなか、子どもたちは次々と飛びだすお話しの世界に引き込まれていました。

今後も、身近になった大阿仁公民館「図書ひろ

ば」をお気軽にご利用ください。

■利用時間 8:30～21:00 貸出し1人3冊まで



▲子どもたちを前に読み聞かせをする谷京子さん

バター餅をつくろう!

～中央公民館講座「郷土料理を学ぼう会」～

郷土料理を学ぶ講座が6月22日、中央公民館で開かれ、12人の参加者が今話題のバター餅の昔ながらの作り方を学びました。

講師を務めた齊藤イヨ子さん(阿仁湯口内)は、おばあさんから伝え聞いた作り方を守りながらバター餅を作り、家族や友人たちに喜ばれています。

講座では、初めに阿仁地区でバター餅が作られるようになった由来や文化に触れ、バターが手に入るようになったルーツなど興味深い話がされました。その後の作業では、蒸したもち米にバター

や砂糖を混ぜ込む手順や分量など、受講生はメモをとりながら熱心に学んでいました。



▲バター餅づくりに挑戦する参加者

芸文の郷で文化交流

～合川地区芸文祭～

第6回合川地区文化交流会と第24回合川芸文祭が7月1日、合川農村環境改善センターで開催されました。

文化交流会には米内沢「熊野神社餅搗き踊り」、前山「雑魚釣り舞」、NAOKOバレエスタジオの皆さんが出演し、貴重な民俗芸能と本格的なクラシックバレエで観客を魅了しました。

後半の芸文祭には合川を拠点に活動している14団体が出演。舞踊や民謡、演奏など日頃の練習の成果を堂々と披露し会場を大いに盛り上げました。

また、ロビーには俳句や陶芸、華道の作品が展示され、多くの人たちが力作に見入っていました。



▲NAOKOバレエスタジオの皆さん

学びの広場

**平成24年度北秋田市文化祭
出演団体・作品作品の募集**

【問い合わせ】 生涯学習課 ☎62-6618

平成24年度北秋田市文化祭を次のとおり開催します。

開催にあたり、演出出演者、展示作品を募集します。希望される方は、所定の様式に記入の上、お申込みください。

◇期日・会場
 展示部門 10月27日(土)～28日(日)
 北秋田市文化会館
 展示部門 11月10日(土)～12日(月)
 森吉総合スポーツセンター

◇演出出演者募集

内容 グループによる生活芸術、舞台芸術

時間 1グループ最長20分まで
 申込締切 8月24日(金) 17時

※日程、時間帯については申込時に希望をとりまします

◇展示作品募集

内容 市在住の個人及びグループの作品

出品制限 希望のスペースや出展数により調整します

申込締切 9月7日(金) 17時

◇申込み先(両部門共通)
 所定の様式にご記入のうえ、生涯学習課文化班または各地区公民館へお申込みください。

第7回北秋田市民俗芸能大会

【問い合わせ】 生涯学習課 ☎62-6618

北秋田市に伝承されている民俗芸能等を保存伝承するため、広く市民に公開します。入場は無料です。皆様お誘い合わせのうえご来場ください。

期日 8月26日(日)
 時間 開演13時30分(開場13時)
 会場 北秋田市文化会館

出演団体

- ・熊野神社餅搗き踊り保存会
- ・李岱駒踊り会
- ・比立内獅子踊り保存会
- ・国際教養大学地域環境研究センター(太田番楽・上杉大名行列・幸屋渡番楽の映像上映)

エコクラフト講座

【問い合わせ】 合川公民館 ☎78-2114

期日 8月28日(火)～29日(水)
 時間 10時～15時
 場所 合川公民館

講師 菅原知明さん

定員 先着15人

材料代 1000円程度

持ち物 筆記用具、ものさし、木工用ボンド、洗濯バサミ(20個)、ハサミ、目打ち、昼食

申込期間 8月1日(水)～17日(金)

ふるさとの文化財

53

北秋田市指定有形文化財

(工芸)

○「米内沢八橋焼大瓶」

◇所在地 米内沢本城地区

◇管理者 個人所有

八橋焼を始めた人は大倉東五郎という人物で、代々大蔵屋を名のる商人であったという。東五郎は家業の小売業に加え、秋田の八橋から職人を呼んで窯を造り焼き物を始め、米内沢の郊外には今でも「ヤバセ」という言葉や地名が残っています。元治元年(1864年)頃にはすでに創業しており、開始したのは江戸時代後期であったと思われまます。なお、焼いたものは次の二種類に大別されます。

- (1)日用雑貨 かめ、すり鉢、徳利、貝風呂、消つぼ、油つぼ他
- (2)置物 動物、七福神(恵比寿神、布袋様)、香炉、鬼子母神像、稲荷像

焼き物は日用品もあり販売されたので、地区の人の中には大切に保存し所有されている方も多しと思われまます。写真の大瓶は濁酒造りに使用されたと思われ、かなり大きな作品です。江戸後期になって当地方に伊万里焼や九谷焼、白岩焼が入り普及したと考えられます。

◇白釉大瓶(はくゆうおおがめ)
 陶器の表面に光沢を出し保護す



▲米内沢八橋焼大瓶

◇昭和59年3月21日指定文化財
 ◇資料「森吉町史資料編第9集」北鹿地方史論考集、「おんこ」ほか
 ◇紹介者/北秋田市文化財保護審議会委員 照内捷二